

Bericht JUKU 2023 ドイツ青少年コース 2023 報告 日本語訳

1. Shunichiro SAKAMOTO, Waseda Universitätsoberschule
2. Nonoka NAKAJIMA, Yokohama Kokusai Oberschule
3. Koki MOCHIZUKI, Dokkyo Oberschule
4. Yuki ITABA, Waseda Universitätsoberschule
5. Masaya HOTORI, Dokkyo Oberschule
6. Itsuki KAI, Kitazono Oberschule
7. Haruto KUBOTA, Waseda Universitätsoberschule
8. Toko KOMAKI, INAGAKUEN Oberschule

1. 初めてのドイツ滞在 Shunichoro SAKAMOTO, Waseda

1. 私の名前は坂本 俊一郎です。早稲田高等学院に所属しています。今から、今年の Jugenkurs について、プレゼンしたいと思います。私のテーマは、「私のドイツでの初めての滞在と発見」です。
2. 私は 2023 年 7 月 30 日から 8 月 19 日まで、バイエルン州ベネディクトボーアーンでの Jugenkurs(JUKU)に参加しました。3 週間の間、様々な 19 か国から集まった 75 人の生徒たちと修道院で過ごし、共にドイツ語を学びました。
3. JUKU 以前、私はドイツを含む海外にほとんど行ったことがなかったため、現地での経験は全て私にとって新鮮で驚きに満ちていました。以下では、私が初めてのドイツ滞在での発見の一部を紹介したいと思います。
4. 私がドイツに到着してから初めて驚いたことは、気候です。
5. 日本に比べると涼しいことは知っていましたが、正直な所異常なほど寒いと感じました。最初の 1~2 週間は昼の最高気温が 20℃までしか上がらず、夜中は 10℃程度まで冷えていたので、私は常に長袖と上着を着ていました。私のルームメイトは半袖シャツしか持っていなかったため、ミュンヘンの遠足の時に私と真っ先に服を買いに行きました。今となっては愉快的思い出です。
6. 私は遠足でミュンヘンを観光したほか、友達と何度かベネディクトボーアーン市内で買い物をする機会がありました。私が共通して印象に残っているのは、街の景観の美しさです。伝統的な建物が残っているのはもちろん、場所によっては建物の屋根や壁の色が統一されているのに驚きました。何か法律や条例があるのではないかと思います、それでもバイエルンの伝統と景観の保護の取り組みは非常に素晴らしいものです。
7. 3 週間の間、ドイツ人の方と話すことが多くありました。修道院でお世話をしてくださる方や先生方に分からないことを質問すると、私のたどたどしいドイツ語にも関わらず親切に答えてくださりました。また、街中で環境問題に



に関してドイツ人の方にインタビューをする機会があったのですが、市民一人ひとりが、持続可能性に関して確かな意見を持っていることに驚きました。

8. ここで私がドイツでの驚きの全てを説明できた訳ではありません。他にも、食文化の日本との違いや、様々な国から来た他の参加者との交流などがありました。その一方で、私にもっと語学能力があれば、もっとドイツや、他の国の文化や人々について知ることができたのに…とも思うことがあります。しかし、言語の問題にも関わらず、私は初めてのドイツ滞在にして、たくさんの友達と知り合うことができました。ドイツ語の学習は今後も継続して、ドイツに再び来たいと思います。
9. Goethe-Institut、PASCH、そして先生方とお世話してくださった皆さん、このような意義深い機会を与えていただき、ありがとうございました。

2. 授業について Nonoka NAKAJIMA, Yokohama Kokusai Oberschule

1. こんにちは。横浜国際高校の中島野花と申します。本日は青少年ドイツ語コース(JUKU)でのドイツ語の授業について報告します。
2. 私は7月30日から8月19日までの3週間、JUKUの奨学生としてドイツに滞在しました。JUKUでは、18の異なる国から集まった83人の生徒たちと共にドイツ語を学びました。
3. 宿泊施設にはいくつかの教室があり、それぞれの教室はドイツの都市の名前が付けられています。これらの教室で私たちは勉強しました。生徒各々のレベルに合わせて、クラスは6つに分けられています。私はGoethe Zertifikat A2への合格を目指すクラスで、13人の生徒たちと共に勉強をしました。
4. 教室にある机と椅子は可動式なので、授業の形態に合わせて移動させていました。
5. 授業は一コマ90分で、基本的に平日、授業が一日に3コマずつあります。
6. コミュニケーションが重視された、主体的で創造的な授業が多く、日本の授業とは大きく違う印象でした。
7. 身体を使ったゲームや会話を通して単語を覚える活動があり、日本語の説明がなくても新しいドイツ語を身につけることができました。また、習った文法も大変実用的で、もっと早くこの法則を知りたかったと思えるようなものでした。
8. 毎日の授業の三時間目には、アンケートを元にしたプレゼンなど、複数人でクリエイティブな活動をしました。



9. ミュージックビデオの制作が特に良い経験でした。ドイツ語の楽曲を選び、それぞれに 7 人グループを作って動画を撮影しました。アイデアを出し合って一つの作品を作るのはとても楽しかったです。
10. 滞在二週目には試験があり、私は水曜日に筆記試験、金曜日に面接を受けました。休日にも頑張って勉強したのが功を奏し、満足のいく結果が得られました。
11. 最後の週には、プフォルツハイムという街で特別授業が行われました。3 人程度のグループで街を散策しながら、与えられた課題をこなすというものです。町にある長いドイツ語の単語を探す課題や、訛りに関する課題などがあり、どれも興味深かったです。
12. 私は言語学に興味があり、いろいろな人の話す多彩なドイツ語に囲まれた3週間は、後学のための大変良い経験になりました。それぞれ母語も価値観も違う仲間たちと一緒にドイツ語を学ぶのは、新しい視点がたくさん得られてとても楽しかったです。
13. 最後になりますが、この素晴らしい機会を与えてくださった全ての方々に感謝の意を表します。ご清聴ありがとうございました。

3. Länderabend 国別発表について Koki MOCHIZUKI, Dokkyo Oberschule

1. 私は夏休みに JUKU に参加しました。その中で、こ国別発表会に参加しました。国別発表会では参加した 20 の国が自国の文化などを互いに紹介し合う会です。
2. 例えばエルサルバドル、フィリピン、コートジボワールそして日本はダンスを披露しました。エルサルバドルはドレスを纏い伝統的なダンスを踊っていました。とても綺麗でした。フィリピンとコートジボワールも伝統的なダンスを披露しました。そしては我々日本はソーラン節を披露した後に、みんなが盆踊りを踊りました。とても盛り上がりました。
3. 韓国、チュニジア、パナマは歌を披露しました。韓国は今流行っている K-pop をダンスと共に歌っていました。パナマはパナマの曲を1人で上手に歌っていました。チュニジアはヴァイオリンの演奏と共に伝統的な歌を披露していました。とても音色が綺麗でした。
4. フランス、イギリス、ルクセンブルク、コソボは自国の文化についてとてもわかりやすく紹介してくれました。中でも特にフランスはパン屋での買い物の様子を演劇風に紹介していました。僕はまるでパン屋にいるような気分になりました。



5. どの国な発表もとても素晴らしいかったです、中でも僕が気に入った国がモロッコの発表でした。モロッコはモロッコの市場の様子をお笑いのようで紹介していました。モロッコの市場の様子はとても愉快だと言うことがわかりました。すごく面白そうだと思います。
6. 最後に、自分の国食べ物を振る舞い合いました。日本からは日本のお菓子を提供しました。みんな今までに食べたことない味だと言っていました。私も初めて食べる料理ばかりで美味しかったです。
7. 終わりになりますが、国別発表会を通して私は様々な国に興味を持ち、互いの文化を知り友達になることができました。最初は友達ができるか不安でしたが、そんな不安は4日目にしてなくなりました。
8. この経験はとても良い思い出です。ありがとうございました。

4. アクティビティについて Yuki ITABA, Waseda Universitätsoberschule

1. 平日の午後、土曜日の夜、そして日曜日は **Freizeit Programme** が行われました。 **Freizeit Programme** ではスポーツやネイルなど様々なアクティビティが行われます。行われるアクティビティはその日や時間帯ごとに異なり、また参加者はどのアクティビティに参加するか、あるいは参加せず休憩時間を確保するか、選ぶことができます。なので試験前は **Freizeit** を選択して勉強をする人が多かったです。しかし基本的に全員何かしらのアクティビティに参加していました。
2. アクティビティの種類は豊富でしたが、 **Wanderung** は3週間の間で4回も行われました。我々の滞在先の隣には大きな森があり、そこへよく散歩に行きました。平均気温が 25°C を下回るので快適に散歩することができました。
3. また植生も日本と全く異なるので非常に新鮮な気持ちになりました。
4. ほかのスポーツのアクティビティの例をあげると、バドミントン、フリスビー、バレー、サッカー、卓球などがあります。 **Freizeit Programme** は授業と同じように1時間半のあいだ行われます。なのでスポーツのアクティビティはとても疲れしました。スポーツのほかにはTシャツ制作、フォトフレーム制作、ネイルアートなどが行われました。Tシャツ制作やフォロフレーム製作は一見難しそうですが、やり方を（担当スタッフ）の方が丁寧に説明してくださるので楽しく行う事ができます。
5. 土曜日の夜の **Freizeit Programme** ではいずれもパーティーが行われました。1週目のパーティーはディスコ風のものとなっており、みんなでダンスをしたり、記念撮影をしたりして盛り上がりました。 **Ausflug** の疲れを吹き飛ばすようなとても楽しい時間でした。2週目のパーティーはおしゃ



れな雰囲気でした。皆ドレスやスーツを着てお洒落をしていました。これらのパーティーを通してほかの参加者とより親睦を深めることができました。3週目のパーティーは留学最終日というものもあって、いわゆるお別れパーティーのようなものでした。寄せ書きを書いたり写真を撮ったりしました。最後はコースソングの「Nur ein Wort」を円になって合唱しました。

6. **Freizeit Programme** はスポーツや T シャツ制作など多様でしたが、やはり共同作業を通じてほかの参加者と親睦を深めることができる点が最も魅力的だったなと思います。授業のクラスが異なる参加者とも仲良くなることができましたし、ドイツ語での実践的な会話も練習できたので参加してよかったなと思います。このような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆様、サポートしてくださった学校の先生方に心より感謝いたします。

5. 宿泊施設について Masaya HOTORI, Dokkyo Oberschule

1. 7月30日から8月19日までの3週間、プフォルツハイム・ホーエンヴァルトで開催された PASCH の Jugendkurs 2023 (JUKU) に参加しました。
2. 私は「ホーエンヴァルト・フォーラム」に滞在しましたが、そこには世界18カ国から計84名の PASCH 生が集まりました。以下、宿舎での様子を報告いたします。
3. 部屋はシャワー付きのツインルームでした。宿舎の周りには広大な庭があり、そこでリラックスすることができました。授業やプログラム用の部屋や広間もたくさんありました。受付では、お菓子が売られていて、アイスクリームを買うこともできました。
4. 「ホーエンヴァルト・フォーラム」は、シュヴァルツヴァルトの中にありました。
5. みんなで一緒に森をよく散歩しました。景色がとても美しく、楽しかったです。本当に居心地のいい滞在先でした。
6. 宿舎での生活について紹介します。朝 7:30 に起床ですが、ベトロイヤーの方が部屋をノックしてくれます。朝食の時間は、8:00 から 8:45 までです。食事はビュッフェスタイルで、好きなものを好きなだけ食べることができます。食事の際は好きな場所に座ることができ、いろいろな人と知り合いになることができました。平日の最初の授業は 9:00 からで、自分のレベルにあったクラスへ行きます。私は A2 クラスでした。1 コマは 90 分間で、授業が終わるとおやつ休憩があり、ラウンジでおやつを食べることができました。コーヒーメーカーもあり、私はよくココアを飲んでいました。授業は 1 日 3 コマで、最後 (3 限目) の授業は 15:30 に終わります。



7. 午前 10:30 に最初の授業が終わると、自分が参加したいその日のレクリエーション・プログラムのリストに名札を貼ります。レクリエーションにはハイキング、サッカー、Tシャツ作り、陶芸などがありました。
8. 昼食の時間は 12:30 から 14:00 までです。最初のレクリエーション・プログラムは 16:00 から 18:00 まで、夕食は 18:00 から 19:00 まで、次のレクリエーション・プログラムは 19:00 から 21:00 までとなっており、週末にはパーティーも開催されました。21:30 からは「Abendrunde」と「Flurrunde」がありました。そこでは、みんなで集まって一日を振り返り、翌日の予定を確認し、そして最後に、毎日私たちのコースの歌をみんなで歌いました。それから部屋に戻り、ルームメイトと話しました。

JUKU に参加して驚いたことがあります。それは、まわりの人々が顔を合わせると、みんないつも笑顔で「Hallo!」と挨拶してくれることでした。私もだんだん慣れてきて、自分からも気軽に挨拶が言えるようになりました。JUKU では大変貴重な経験をさせていただきました。末尾ながら、Goethe-Institut、先生方、ベトロイヤーの方々、そして支えてくれた家族に感謝いたします。

6. 遠足について vol.1 Itsuki KAI, Kitazono Oberschule

1. 私は遠足 (Ausflüge) について説明します。
2. 私はミュンヘンに行きました。この街にはとても長い歴史があります。まずは大学に行きました。中には像と絵があって綺麗でした。それから市役所に行きました。大きくて綺麗でした。古いものと新しいものの2つあるようです。その後聖母教会に行きました。中は豪華ですが私は落ち着きました。私はミュンヘンの街に感動しました。
3. 翌週はインスブルックへ行きました。天気はとても良く晴れていて、山は大きくて綺麗でした。スキー場のリフトもあり、美しい街の景色を楽しむことができました。選手たちがスキージャンプをしていました。その後はマリアテレジエン通りを歩きました。ハプスブルクの王宮や教会がありました。王宮はとても大きかったです。街は賑わっていて、豪華で美しく、通りはとても綺麗でした。私はここに住みたいと思いました。とても良いレストランやお土産屋さんがたくさんありました。美術館にも行きました。そこでたくさんの面白くて美しいものを見ました。中には面白いものや美しいものがあり、ずっとキラキラしていました。買い物もたくさんしました。家にはまだお菓子がたくさんあります。

貴重な体験をさせていただいたゲーティンステューートの皆様、先生方、両親に感謝します。

7. 遠足について vol. 2 Haruto KUBOTA, Waseda

私は、2023年7月30日～8月20日の3週間、ドイツ南部のプフォルツハイム・ホーエンヴァルトで行われた Jugendkurs(JUKU)に参加しました。JUKUでは18カ国から84名の生徒が寝食を共にし、様々な活動を通して親睦を深めました。ここでは、ドイツ滞在中の観光について報告します。

1. マンハイム

プログラムの第一週目は、マンハイムへ行きました。マンハイムはバーデン＝ヴュルテンベルク州第二の都市で、宿舎からバスに乗り2時間ほどで到着しました。まずは、Bundesgartenschau (BUGA)という公園に行き、環境に関する展示を見て、説明を受けました。その後、マンハイムの街で2時間程の自由時間がありました。自由時間では、3人以上のグループを作って行動します。自由時間では、Berliner というドイツパンを食べ、カフェに行き、本屋で買い物をしました。

2. ハイデルベルク

第二週目の日曜日にはハイデルベルクを訪れました。ハイデルベルクはバーデン＝ヴュルテンベルク州北西部に位置する都市で、歴史ある建物が建ち並ぶ美しい街並みが魅力の都市です。私たちは登山鉄道に乗り、ハイデルベルク城を訪れました。ガイドの方から町や城の歴史に説明を受けながらハイデルベルク城を見学しました。ハイデルベルクはどこを見渡しても美しく、感激を受けたのを今でも覚えています。城の見学を終えた後は前回同様、自由時間がありました。自由時間では食べ歩きをしたり、お土産を買ったり、ハイキングをしました。どれも忘れられない思い出になったと思います。

ドイツに滞在した3週間は毎日が充実していましたが、その中でも Ausflug は特別な思い出になりました。このような機会を与えてくださった Pforzheim Hohenwart の方々、ゲーテ・インスティトゥート東京の方々に心より感謝申し上げます。

8. 食べ物について Toko KOMAKI, Inagakuen Oberschule

1. 私はこの夏 PASCH ドイツ青少年コースに参加し、ドイツのミュンヘン郊外にあるベネディクトボイアーンという街に7月30日から8月20日までの約3週間滞在しました。私からはドイツでの食事について報告したいと思います。
2. 私たちが泊まったベネディクトボイアーン修道院では、毎日ビュッフェ形式で好きなものを選んで食べることができました。
3. 朝食は基本的に毎日同じで何種類かのパンとシリアル、サラダや果物が提供されました。私は毎日パンにハムを挟んだり、ジャムを塗ったりして食べていました。日替わりでピーチティーやオレンジジュースなども飲むことができました。



4. お昼はパスタやソーセージ、ハンバーグなどが出て1日の中で一番豪華だったと思います。たまにお米が出ましたが、タイ米がほとんどでした。デザートが用意されることもあり、アイスやプリンが提供されました。週末に外出した時やテストのためにミュンヘンに行った日にはランチパックを作って持って行きました。ランチパックにはパンにハムやチーズを挟んだもの、フルーツ、チョコバーが入っています。
5. 夜ご飯は軽めで、パンとサラダということが多かったのですが、たまにラビオリやシュニッツェル、ピラフなどもありました。私のお気に入りにはシュニッツェルです。最後の日にはジェラートが用意されました。それはとても美味しかったです。また週末にはみんなで **BBQ** をしました。**BBQ** ではスタッフの方がお肉やチーズを焼いてくれました。私は鶏肉と豚肉を食べ、どちらもとても美味しかったです。私の友達は何度もおかわりをしていました。
6. 授業の合間の休み時間には果物やパン、お菓子が用意されていて自由に取ることができました。↓これは私のお気に入りのシナモンロールです。
7. 食堂にはいつもベジタリアンとビーガン向けの料理があったり、何のお肉かがわかるようになっていて様々な人への配慮があると感じました。スーパーマーケットには、ビーガン向けのお菓子が沢山置いてありました。またドイツは環境問題の取り組みがとても進んでいると感じました。売店で飲み物を買った時にメニューに書かれている値段より多く払いました。飲み終わった後その売店にボトルを返すと、多く払った分のお金は返してもらえます。これは **Pfand** 制度と呼ばれています。これは日本ではまだ稀でありあまり知られていないシステムだと思います。
8. ミュンヘンに行った際はレストランでポークナックル、白ソーセージ、じゃがいもなどのドイツ料理を食べました。ポークナックルは、豚の骨つき肉を煮込み、焼いたものです。どれもとても美味しかったです。また **Spezi** や **Apfelholre** も飲みました。**Spezi** はファンタとコーラを混ぜたもので、**Apfelholre** はリンゴジュースに炭酸を加えたものです。どちらもとても気に入りました。
9. 日本食が恋しくなったので、ミュンヘンのスーパーマーケットに行った時に寿司を買って友達と一緒に食べました。寿司は他の国の人からも人気がありました。
10. このプログラムを通してドイツ語の学習はもちろん、ドイツの食事や気候、文化などについても学ぶことができました。また世界中から集まった様々な国の人と出会い、異文化交流もできました。このような素晴らしい経験ができたことを、本当に嬉しく思います。この機会を与えてくださった全ての方に感謝します。
11. ご清聴ありがとうございました。

Bericht PAD 2023/PAD 2023 報告

1. Riria NAKAMURA, Inagakuen Oberschule
2. Koki HIRONAKA, Waseda Universitätsoberschule

1. Riria NAKAMURA, Inagakuen Oberschule

1. この夏、私は PAD のプログラムで 1 ヶ月ドイツに滞在しました。このプログラムでは、ドイツ語を学ぶ世界中の学生がドイツに集まり、いくつかの主要都市を 2 週間訪れ、さらに 2 週間ホストファミリーと過ごします。今回はボンとラーベンスブルクでの思い出についてお話しします。
2. ボンではハリボーショップ、ベートーベンの家、ドイツ歴史館を訪れました。歴史館では、戦後から現代までのドイツの発展について学ぶことができました。
3. また、ボンを知るために、他の参加者と一緒に街の人にインタビューも行いました。インタビューは難しかったですが、これを通じてボンの方言やカーニバルにまつわる多くのことを知りました。
4. 5. ケルンではケルン大聖堂を訪れたり、リンツのチョコレート博物館を見学しました。そこでは製造工程を見るだけでなく、美味しい出来立てのチョコレートを味わうこともできました。
6. 7. その後、美しい自然と街並みが残るラーベンスブルクに 2 週間滞在しました。ホストブラザーと一緒に学校に通う機会もありました。特に印象に残っているのは、フランス語の授業でクレープ作りを楽しんだことです。幸運なことに、フランス語が分からなくても全く問題ありませんでした。
8. 9. また、政治についてのディスカッションはとても興味深く、現地の学生も PAD の参加者もたくさんの質問をしていました。学校の旅行でボーデン湖をクルージングしたことも素敵な思い出です。
10. そして、ホストファミリーと過ごした時間は何よりも素晴らしかったです。お気に入りへの思い出は、一緒にケーキやクッキーを焼いたり、犬を連れて森散歩したことです。
11. また、生まれて初めてミニゴルフをして、ホストファミリーの兄妹とスコアを競うのも楽しかったです。とても親切なホストファミリーとの交流で、彼らの方言やドイツのケーキのレシピなど、それまで知らなかった楽しい知識を得ることができました。
12. このプログラムがどれほど素晴らしかったか、言葉では言い尽くせません。思い出を振り返るたびに、すべて夢だったのではないかと思ってしまうほどです。PAD に参加することで、世界中の素敵な人々と出会い、最高のドイツ料理を楽しみ、異文化を学び、この上ないドイツ語学習のモチベーションを得ることができます。

皆さんのような熱心にドイツ語を学ぶ方がこのプログラムに参加されることを願っています。

2. Koki HIRONAKA, Waseda Universitätsoberschule

今年の夏に PAD というプログラムに参加した。ここではそのプログラムのうちミュンヘンとベルリンでの滞在を報告する。

ミュンヘンにて

1. 1日目「こんにちはミュンヘン！」

私たちがホストファミリーのもとに2週間滞在したラーフェンスブルクという街から電車に乗ってミュンヘンへ向かった。実をいうとこの移動はあまり心地の良いものではなかった。集合時間は駅に11時であったにも関わらず、電車の出発は11時前だったのである。これによって駅では1時間待たなければならず、さらに予約席なしで2時間立ちっぱなしだった。ミュンヘンについてホテルのチェックインの後はミュンヘンのガイドを受け、新市庁舎、フラウエン協会、レジデンス、ホーフガルテン等を訪れた。夜には即興劇を見られる劇場を訪れた。

2. 2日目「大きな博物館」と「白薔薇」

午前中はドイツ博物館へ行った。ここには科学に関する興味深い展示があった。この博物館は非常に大きく、物理や化学、生物、医学といった多岐にわたることを学ぶことが出来る。もし私が幼いころにここを訪れていたとしてもしかすると学者の道を志していたかもしれない（と思わせるほど非常に面白い博物館であった。）午後には大学へ行った、まず大学の食堂で昼を食べ、そのあと学生から大学に関するプレゼンを聞いた。この大学は第二次世界大戦時にナチスに対して抵抗をした「白薔薇」という名前の組織で有名である。そのメンバーはこの大学の学生であり、ナチスに反対するビラの印刷を行った。しかし、1943年、今からちょうど80年前に大学の構内でビラをばらまいた際に逮捕、処刑された。大学の地下にはこの勇気ある人たちに関する展示があった。

3. 3日目「うー、こりゃ寒い！」

この日はツークシュピッツェ山へ行った。ロープウェイに乗って頂上まで上ることができ、頂上はととても寒かった。記憶が正しければおそらくマイナス2度くらいであったかと思う。この寒さにも関わらず、私のグループのイングランドからの友達は半袖半ズボンという格好であった。そして、次の日には風邪をひいていた。

4. 4日目「大きな庭」

私たちはアマリエンブルク城を見学した。私は実はニュンフェンブルク城へ行ったのであるが、そこはしまっていた。そうはいってもこのアマリエンブルク城もとてもきれいであった。アマリエンブルク城やニュンフェンブルク城は庭園の中にあり、私たちが訪れた他の城も同様にこの庭に会った。この庭はかなり大きかったため、たくさん歩かなければならなかった。

ベルリンにて

5. 1日目「さようならミュンヘン、こんにちはベルリン！」

ミュンヘンからの長い列車の後、私たちは最後の街であるベルリンへやってきた。最初にホテル「ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン」に行きそのあと「未来ミュージアム」という博物館を訪れた。その展示内容は未来に関することで、創造的な展示から未来がどうなるのか、あるいはどうあるべきかをよく考えることができる。

6. 2日目「連邦議会」

この日は町のガイドを受けてそのあと連邦議会へ行った。入り口では空港さながらの身体検査を受けなければならず、私はなぜか緊張気味であった。そのあとはベルリンのテレビ塔に上った。夜にはもう一度連邦議会へ行き、ショートムービーを見た。

7. 3日目「雨」

この日はポツダムにあるサンサーシー公園へ行った。この公園は自然にあふれていて、とてもきれいだった。しかし急に天気が急変して土砂降りになった。これは典型的なベルリン（ポツダム）といえよう。夜には「お楽しみ」なるプログラムが用意されていた。それはカラオケで私たちのそれぞれが1つ歌を歌った。

8. 4日目「ベルリンの歴史」

午前中に私たちはベルナウアー通りへ行った。ここの通りではベルリンの壁が保存されており、ここから当時のベルリンがどのように機能していたのかを知ることが出来る。午後はオプション制だった。博物館や美術館、あるいはサッカースタジアムや動物園のうちどれか一つを選べた。私は冷戦時の歴史を知りたかったので博物館、特にDDRミュージアムを選んだ。ここではDDR、すなわち旧東ドイツでの生活がどのようなものであったかを学ぶことが出来る。当時の自動車や食品、また当時の住居までが展示されていた。これらは非常に興味深かった。

9. 5日目「またね！」

この日はベルリンで過ごす、そしてこのPADの全プログラムの最終日であった。午前中はもう一度町へ買い物に行った。そこでは個人的なお土産等を購入した。その後はイーストサイドギャラリーを訪れた。このギャラリーは1.3キロにも及ぶベルリンの壁の一部から成り立っていて、壁に描かれたたくさんの興味深い絵を鑑賞できる。夜にはお別れパーティーがあった。このパーティーは船の上で行われて、音楽やダンスを楽しんだ。そしていよいよお別れの時がきた。私たちはお互いに抱擁して、またどこかで会えることを約束しあった。何人かの人は泣いていた。私は泣きこそしなかったが、お別れの時間は私にとって耐えがたいものであった。というのも、出発は国ごとに違っており、日本の出発は最後のグループに属していたからだ。これによって私たちは多くの友人を見送らなければならなかったのだ。ただ、私たちはもう一度会えると思っている。地球はそんなに大きくないのだから。

最後に、この素敵なプログラムを用意してくださったことに対して、PADとこれに関わるすべての人に心より感謝申し上げます。

Bericht Deutsch plus Beruf 2023/ ドイツ語と職業コース 2023 報告

Yuto KUROKI, Waseda Universitätsoberschule

1. 皆様こんにちは！ 早稲田大学高等学院の黒木勇人と申します。本日は Jugendkurs + Beruf についてお話いたします。
2. 私は Jugendkurs+Beruf というコースに参加し、6月25日から7月15日までの間、ドイツのハイルブロンに短期留学に行きました。初めの2週間は語学学校でドイツ語の授業があり、最後の1週間はハイルブロンにある企業で職業体験をしました。
3. 授業ではビジネスに関するドイツ語を学びました。また、仕事の世界で適切にコミュニケーションをとる方法も学びました。例えば、履歴書やエッセイの書き方、面接の受け方などです。討論や互いのことを知るためのゲームもやりました。
4. 授業は Bildungscampus で行われました。Bildungscampus は様々な大学や企業、組織が集合した、近代的なキャンパスです。施設は大変きれいで、多くの大学や会社、組織の方がともに食事をする食堂では、多国籍の人々が様々な言語で話していました。とても国際的な環境で、大変魅力を感じました。
5. 授業の後に、様々な大学を訪問しました。また、人工知能のイベントに参加したり、40か国以上の生徒が通うプログラミング学校を訪問したりしました。ドイツの科学技術を学ぶ機会が多くあり、私には非常に刺激的でした。特に、Bildungscamps 内にあるミュンヘン工科大学のハイルブロンキャンパスで体験したバーチャルリアリティーは大変興味深かったです。ほかにも、Experimenta というドイツ最大級の科学センターで、保湿クリームの作り方を学ばせていただきました。
6. 最後の週には、四つの企業で職業体験をさせていただきました。車の部品を製造する会社、ベンチャー企業を支援する会社、カメラを製造する会社、そして車の大手製造企業を訪問しました。そこでは、工場見学、機械の操作、ワークショップに、参加させていただきました。自動車の工場では、数メートルの大きさのロボットの腕が高速で動いて自動車を組み立てていて、私はドイツの技術力の高さに大変驚きました。また、ドイツでは大学と企業の繋がりが強く、大学生が企業で実際の職業経験を積めることが分かりました。
7. 私が参加したこの Jugendkurs+Beruf の最大の特徴は、科学技術やビジネスに興味を持つ生徒が集まっていることです。特に、私と同じように、機械工学や電気工学、プログラミングに関心がある生徒が多かったです。私は他の生徒と、どのプログラミング言語を使っているか、どのマイクロコンピュータを使っているか、何を将来勉強したいかなどについて語り合うことが出来、大変楽しかったです。自分が将来したいことについて深く考える良い機会になりました。
8. もちろん、ドイツ語や技術に関する学習だけでなく、他にも多くの楽しい活動がありました！ 例えば、サッカー、卓球、折り紙、ダンスパーティーがありました。遠足もありました。例えば、

9. ハイデルベルク、
10. ルートヴィヒスブルク、
11. シュトゥットガルト などの町に行きました。ほかにも、ベンツ美術館への訪問、遊園地、ドイツ語での映画鑑賞、カラオケ、などなど楽しいイベントも盛りだくさんでした！
12. また、私は友達とよく街に行き、アイスクリームを食べたり、ケバブを食べたり、本屋に行ったりしました。これらの交流を通して、私は世界 30 カ国から来た 36 人の生徒達みんなと仲良くなれました。多くの国や文化について学び、多文化理解を深めることは大変楽しかったです。これらの経験は私の一生の宝物です。
13. 本場ドイツのソーセージはとてもおいしく、特にカレーソーセージを気に入り、何回も友達と食べに行きました。ただしドイツでは、夕方 6 時にはほとんどの店が閉店するため、カレーソーセージの店が夕方 5 時には閉まる時もあり、がっかりしたことが何回かありました。しかし、仕事と家族の両方の時間を大切にするドイツの文化は素晴らしいと思いました。
14. 私にこのような大変貴重な経験をくださった、ゲーテ・インスティトゥート、Dieter Schwarz 財団、aim の方々に深く感謝申し上げます。
15. 初めてのドイツ訪問で、出発前は不安もありましたが、温かくサポートしてくださった方々のおかげで、楽しく充実した 3 週間を送ることが出来ました。これからもドイツ語力を高める努力を続けていこうと思います。本当にありがとうございました。



Liebe PASCH-Lehrkräfte,

wir wollen Ihre Schüler*innen gerne zu einem kleinen PASCH-Ostasien-Projekt einladen! Bitte leiten Sie die Einladung an Ihre Schüler*innen weiter. Das Projekt eignet sich auch gut, gemeinsam im Unterricht zu machen. Wir freuen uns auf die Antworten 🧐

Liebe PASCH-Schüler*innen,

wie schnell die Zeit vergeht! Das Jahr 2023 nähert sich dem Ende. Wir wollen in diesem Jahr noch ein kleines, schönes Projekt mit euch durchführen. Es geht ganz einfach!

Mach Mit!: Geburtstagskalender 🖍️

1. Scannt den QR-Code mit dem Handy und antwortet auf die Fragen zu den zwölf Monaten, und was ihr mit den jeweiligen Monaten assoziiert. Am Ende der Umfrage gebt bitte euren Schulnamen an.
2. Mit euren Antworten basteln wir einen Geburtstagskalender für eure Klassenzimmer zum Herunterladen.

Wisst ihr eigentlich, was ein Geburtstagskalender ist? Es ist ein Kalender, auf dem ihr die Geburtstage eintragt, die ihr euch merken möchtet. Ihr habt alle Geburtstage auf einem Blick und vergesst nie wieder, einem Geburtstagskind zu gratulieren 😊

Bis zum **17. November 2023** habt ihr Zeit, an der Umfrage teilzunehmen. Also, los geht's!
Herzliche Grüße aus dem Goethe-Institut Seoul!
Jihyeon Park



GOETHE INSTITUT

Mach Mit!

GESTALTET EUREN
GEBURTSTAGSKALENDER
FÜR DAS JAHR 2024

Scannt den QR-Code
mit eurem Handy!

Schickt uns eure
Kalenderworte!

Erhaltet euren digitalen
Geburtstagskalender!

Macht mit bis zum
17. November!

The flyer features a green background with colorful confetti, streamers, a sun, a birthday cake, and a cupcake. It includes a QR code and the Goethe Institut logo.